

(部分)責任実習指導計画

実習指導者

㊦

実習生氏名

㊦

20xx年○月○日(△)		場所	
主な活動(題材)		遊戯室	
ゆりかごと前まわり		実習クラス (5)歳児 (さくら)組 男児(12)名 女児(12)名 計(24)名	
幼児の姿(前日までの幼児の姿を多面的に捉えて書く)	<ul style="list-style-type: none"> ゆりかごとで後ろへ転がった後、スムーズに元の姿勢に戻れない子が見られる。 前まわりで、小さく丸くなるイメージが強く、そこから先の回転にうまくつなげられない子が見られる。 	保育活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ゆりかごと前まわりをすることによって、支持感覚や逆さ感覚、回転感覚を育む。 子どもたちが互いに約束を守って、仲良く関わりあう力を育む。
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮
10:00 (導入)	<p>〈集合〉遊戯室 〈活動の説明〉 「準備運動」 幼児 ◎ 保育者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の呼びかけで集合する。素早く集合する子とのんびりと集合する子がいる。 保育者の説明を座って落ち着いて聞くことができる。 保育者の動きを真似て準備運動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに聞こえるように、大きな声ではっきりと呼びかけを行い、集合を促す。 2列横隊で子どもたちを座らせ、一人ひとりと目を合わせ、表情から健康状態を把握しながら、これから行う活動の説明を簡素に行う。 両手を広げて「グルッと回り」、前後左右の友達にぶつからないよう十分な距離と間隔を確保するように促す。 首回し、腕回し、膝の屈伸、伸脚、前後屈、手首・足首を回す。特に首や手首は入念に行う。
10:05	<p>〈マットを準備〉 幼児 ◎ 保育者</p>	<ul style="list-style-type: none"> マットを競い合って運ぼうと殺到する。 マットを運ぶ際に方向が定まらず、横向きや後ろ向きの子が転倒しそうなになる。 保育者の説明を座って落ち着いて聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「〇〇ちゃん、ここを持ってね」と、個々に言葉をかけ、マット4枚を協力して遊戯室の中央へ運ばせ、均等間隔に配置させる。 マットを運ぶときは、マットを縦方向に向け、みんなが前を向いて運ぶように指導する。 各マットの前に3人×2列で子どもたちを座らせ、ゆりかごと前まわりを行うことを伝える。 ぶざげて友達を押さないよう約束させる。 ※順番待ちの時間を減らし活動回数を多く確保するため、マットを横向きで使用。
10:12 (主活動) ※サブシート参照	<p>〈活動①〉 「ゆりかごと」 幼児 ◎ 保育者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の説明を座って落ち着いて聞くことができる。 保育者が行う手本を見て、真似るような仕草が見られる。 隣の子との間隔が保てずに、触れ合うくらいに近づいてしまう。 マットの座る位置が悪く、後ろに転がったときに、頭がマットの外へ出て床に後頭部をぶつけてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> マットの上で体育座りの姿勢から後ろに転がり、2〜3回揺らして勢いをつけ、足よりも頭を前へ出すと立ち上がりやすいことを強調して見せ活動を促す。 1列目の3人が行い、終わったらマットの反対側で座って待つことを伝える。 続いて2列目の3人が行い、マットの反対側で座って待たせる。 保育者はマットの反対側へ移動して子どもたちと向かい合い、2回目を行うよう伝える。 ※時間内で繰り返す行う。
10:20	<p>〈活動②〉 「前まわり」 幼児 ◎ 保育者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の説明を座って落ち着いて聞くことができる。 楕円形のタマゴは立てることによって、自然と倒れるように転がることを理解しようとする。 マットに手をつき尻を上げ、タマゴを立てた姿勢から転がる姿が見られる。 転がった後、そのまま座って静止している子がいる。 頭を足よりも前に出しながら、立ち上がろうとする姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにタマゴの形を問いかけ、楕円形であることを確認する。 子どもたちに対して横向きで、マットに手をつき、尻を上げ、タマゴを立てた姿勢をつくり、目線を中心に(ハソの方)移して転がる前まわりの手本を見せる。 子どもたちに活動を促し、各マット1列目の3人が行い、終わったらマットの反対側で座って待つことを伝える。 続いて2列目の3人が行い、マットの反対側で座って待つことを伝える。 保育者はマットの反対側へ移動して子どもたちと向かい合い、2回目を行うよう伝える。 ※時間内で繰り返す行う。
10:32 (まとめ)	<p>〈集合〉 「マットの片づけ」 「活動のまとめ」 「保育室への移動」 「汗拭き・手洗い・うがい」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 使用したマットをみんなで協力して前を向きながら、所定の場所へ片づける。 保育者の説明を座って落ち着いて聞くことができる。 活動について話し合う。 またやってみたいという期待感をもつ。 保育室へ戻り、汗拭き・手洗い・うがいをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用したマットをみんなで協力して、所定の場所に片づけるよう伝える。 大きな声ではっきりと呼びかけを行い、集合を促す。 活動のポイントや約束を守っていた子どもたちを称賛し自信をもたせる。 楽しかったことや上手にできたこと、難しかったことなどを話し合い、必要に応じて助言する。 活動後は汗を拭き、手洗い、うがいを必ず行うことを伝え、保育室へ移動。
自己振り返り・評価等	<ul style="list-style-type: none"> 活動を始める前に子どもの表情から健康状態や心理状態を把握するようにしている。 活動量を多く確保するための環境構成を工夫している。 常に子どもたちが自分の視野にはいる立ち位置に心がけ、行動を把握し、安全の確保を図っている。 活動のポイントを具体的に示し、子どもたちが理解を深められるように工夫をしている。 活動後には「汗拭き・手洗い・うがい」をするように伝え、衛生面の習慣づくりにつなげていくようにしている。 		